



ふくおか市民政治ネットワーク・福津



思いを同じくする市民が集い・運営委員会をつくり、
私たちの代理人（ネット議員）を議会に送り出しています。

代表/倉田 玲子 代理人/田中 じゅんこ（福津市議会議員）
〒811-3217 福津市中央 2-2-1 TEL・FAX 0940-42-2973
E-mail fukutsu@fnet.gr.jp HP : <http://www.fnet.gr.jp>



やっぱり、
生活って
政治

親子で学ぼう！

夏休み特別企画※

※運営委員会では、気になっていることを
親子で考える機会を設けています。

福間浄化センター見学！7月23日（火）

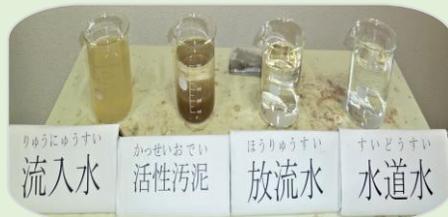
使った水はどこに行くの？どうやってきれいにするの？

その疑問を解決するために親子で学びました。

管理棟



下水処理費は
1日150万円！！



反応タンク



微生物の力を借りて分解中！

最終沈殿池



大人の方が真剣！！

☆香りのアンケート実施中☆

近年、衣類の柔軟仕上げ剤・洗剤・消臭剤等の強い「香り」の商品が人気となり、それにより、頭痛や吐き気、アレルギーが悪化するなどの健康被害を受ける人が増えています。

昨年一般質問で取り上げたところ、「子どもが持ち帰った給食エプロのニオイに困った」「ニオイで頭が痛くなった」など、様々な声が寄せられました。そこで、子どもたちや市民のみなさんが「香り」についてどのように感じているのか、困っていることはないか、健康被害が起きていないか、まずは実態の把握をしています。

※「香害」についてのDVD鑑賞会も計画しています。詳しくはお問い合わせください。

☎42-2973

子どもの感想から

- ・水を使うということは「水を汚している」ということ。水のむだづかいを止めようと思う。
- ・微生物が汚れを食べて水をきれいにしていることが分かった。

大人の感想から

- ・小学校以来の見学でした。大人向けに下水の勉強などがあつたらいいと思う。
- ・快適な生活にはお金がかかっている。
- ・下水処理は大変。やたら下水に流したらいけないことを多くの人に知ってもらいたい。

コラム

☆誰もが地域の中で

「共に働き、共に学ぶ」

福岡市城南区で活動されている障がい福祉サービス事業所「二の会」のお話を聞いた。理事長の登本さんも視覚障がいがあり、色々な苦勞を乗り越え今の活動をされている。眼の病気で多くの方が視力を失っていることも知り、今健康であっても、いつそうなるかわからないんだと危機感を感じた。

しかし、どんなに重度な障がいがあつても地域の中で「共に働き、共に学ぶ」ことが大切。個人を大事にすること、安心して暮らせる地域であること、が大事であると言われた。それは、障がいがあつてもなくても大切なことだと思ふ。

障がいを持った方と一緒に、何が必要か、誰にとつてもよりよい生活になるよう学び、知らせることが大事だと思ふ。

(K・F)

